令和5年度　事業計画書

［若者支援事業課］

1. 事業方針　 Youth＋の賑わいを取り戻す

ここ数年続いたコロナ禍により、社会情勢や人々の行動が大きく変容し、人が集い、その空間で展開される活動には、制限が設けられることを余儀なくされてきた。新たな生活様式の確立が進み定着したことで、若者支援施設においても、その影響を過分に受けてきた。

こうした環境下において、令和4年度は施設利用にこだわらず、施設外に目を向け新たな出会いの創出機会を目的にアウトリーチ事業を積極的に展開した。コロナ禍以前までは、当たり前に存在した居場所や体験の機会を失うこととなった若者の現状や抱える課題に耳を傾け若者が必要としていることをYouth＋で展開する事業や活動へとつなげ、一定の成果をあげたが、若者のリアルな声を広く社会に届けていくことや、Youth＋の社会的役割や質的評価について、更なる強化継続が必要であると認識している。

この現状を踏まえ令和5年度は「Youth＋の賑わいを取り戻す」を方針に掲げ、年齢や興味関心の異なる多様な若者が自己実現のための取組みや若者同士の活動を自由に楽しめる活気ある空間として、人を引き付ける魅力あふれる施設づくりの展開を推進する。そのためには、Youth＋としての足場を改めて固め直す施設運営および事業展開を推進する。また、多様な若者が自らの人生を豊かに過ごす居場所としての賑わいの創出を目指し、以下の重点目標に沿って事業展開を推進する。

2. 重点目標

(1) 地域活動等事業

ア　いとこんち

家庭からの自立を必要とする若者や児童養護施設等を退所した若者への自立支援を目的とし、生活活動機会および自立に向けたサポートを行う。

イ　ヤングケアラー交流サロン

家事や家族の介護を担う18歳以下のヤングケアラー当事者への支援として、居場所提供のみならず、相互に悩みや自身の置かれた環境について意見交流・情報交換を行い精神的な安心感を得て、気軽に過ごせる居場所の提供を継続的に行う。

こども事業課と連携し、部門内でのケース共有や相談体制の強化を行い支援の拡大を図る。

(2)施設運営等事業

ア　ユースワーカーの個性輝くYouth+

若者の多様なニーズや価値観にユースワーカーが寄り添い、多くの人々が集い、人と人とのつながりによって魅力あるYouth+を目指す。

イ　Youth+の「社会的役割」や「質的評価」の認知を広めるためのユース・ワーク

(ア)子ども・若者当事者のアドボカシーの推進

多様な人々が集う居場所やアウトリーチ先において、発せられる当事者の声に耳を傾け、若者の実情を社会へと発信する。自らの声により、社会が変化する実感を伴うことで、若者自身が感じる達成感や若者に限らない周囲の大人や関係団体のYouth＋に対する信頼感や期待感を高める。

(イ)地域とともに実践するユースワークの推進

居場所においては、独自指標に基づきユースワークを展開し、地域の持つ力を若者のニーズや課題に対して最大限活用する。

3. 数値目標(具体的な根拠を示すこと)

令和5年度においては、施設の賑わいづくりに注力し、事業方針を達成するための課独自の目標を設定した。

項目	令和4年度　見込	令和5年度　目標
①利用者証の発行を受けた若者等登録者数	11,305人	16,000人
②若者等登録者の延べ利用者数	154,646人	200,000人
③新規に相談を受けた自立支援登録者数	400人	400人
④進路決定および適切な支援機関につながった困難を有する若者数	301人	345人
⑤交流促進プログラムに参加した若者の延べ人数	6,027人	5,000人
⑥社会活動および育成プログラムに参加した若者の延べ人数	1,830人	600人

【共通目標】

項目	令和4年度見込	令和5年度目標
①利用者総数	210,288人	230,000人
②事業プログラム参加者総数	39,938人	40,000人
③利用者アンケートにおける満足度	98%	98%

【独自数値目標】

項目	令和4年度見込	令和5年度目標
①居場所利用者の延べ人数	26,500人	35,000人
②居場所で出会った若者を支援計画にもとづいて適切な機関や団体につなげた実人数	ー人	35人

4.事業実施計画書(地域活動等事業)

(単位:千円)

NO	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	自主事業 地域若者サポートステーション事業 常設サテライトの運営 (継続)	石狩(札幌市を除く)・空知管内の道央地区における就労支援体制の充実を目的として、職業的自立に向けたキャリアコンサルティングや就職支援プログラムなどを実施する。(厚生労働省事業) ※札幌地域若者サポートステーションの常設サテライトとして、仕様書に含まれる。 [実施事業] ・地域若者サポートステーション事業の受託・実施 ・千歳事業所「若者向け相談窓口」との共催事業 [対象] 15歳~39歳までの若者、40代の就職氷河期世代	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(8,700)	(8,700)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(8,700)	(8,700)
2	その他事業 白石区複合庁舎まちづくりイベント 広場等管理運営事業 (継続)	白石区複合庁舎まちづくりイベント広場の運営。市民の地域参加およびまちづくり団体などの活動の拠点として、参加団体の調整およびイベント運営の補助を行う。 <予定>	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(3,388)	(3,388)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(3,388)	(3,388)
3	その他事業 ヤングケアラー 交流サロン (継続)	家事や家族の介護を担う18歳以下のヤングケアラー当事者への支援として、居場所提供のみならず、相互に悩みや自身の置かれた環境について意見交流・情報交換を行い精神的な安心感を得て、気軽に過ごせる居場所の提供を継続的に行う。こども事業課と連携し、部門内でのケース共有や相談体制の強化を行い支援の拡大を図る。 ・こども事業課連携事業	【R4年度実績予測】 〔時期〕10月~3月 〔回数〕6回	未定	未定
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	未定	未定
4	その他事業 若者の住居支援事業「いとこんち」 (継続)	家庭からの自立を必要とする若者や児童養護施設等を退所した若者への自立支援を目的とし、生活活動機会および自立に向けたサポートを行う。 ・こども事業課連携事業 [実施事業]・拠点型住居支援事業「いとこんち」の運営。・外部団体・個人との協力・連携体制の構築。 [対象] おおむね13歳~19歳までの子ども・若者、児童養護施設等の出身者は24歳まで、子育て中のひとり親は29歳まで ※必要経費については、こども若者応援基金や助成金等を活用する。	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
5	その他事業 若者支援関連事業の 受託 (継続)	若者支援事業の拡充を目的とし、関連事業を積極的に受託する。なお、受託にあたっては、その都度、仕様書に基づき、若者支援施設の可能性を広げるための手段としての妥当性を協議する。また、新規事案については起案にて伺う。	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	未定	未定
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	未定	未定

5.事業実施計画書（施設運営等事業）

（1）若者支援施設全施設共通　プロジェクト事業

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
1	プロジェクト事業 交流促進事業 アウトリーチ推進事業 （継続）	ユース・ワークを必要とする若者に、早期に出会い、若者支援を届ける。学校や家庭以外の居場所や自己実現の機会を提供する。 [実施事業] ①出張ユース・ワーク ・学校内居場所 ・定期訪問型・随時訪問型 ②Youth+みんなのカフェ部 （※キッチンカー稼働含む） ・拠点型・連携型・訪問型 [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 ①出張ユース・ワーク [時期]通年・10校 [回数]62回 ②キッチンカー [時期] 通年 [回数]132回	(0)	(1,565)
			【R5年度】 ①出張ユース・ワーク [時期]通年・10校 [回数]随時 ②キッチンカー [時期] 通年 [回数]134回	企画事業 収益 (50)	(1,240)
2	プロジェクト事業 社会参加促進事業 LGBTQ推進事業 （継続）	性別等にとらわれない居場所の提供を行う。若者のニーズを把握し、若者にとって有効な情報の提供を行うとともに各Youth+においてLGBTQへの理解や関心を持つ機会を提供する。 [実施事業] ・Youth+にじーず札幌ほか [協働団体] ・にじいろほっかいどう	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]12回	(0)	(260)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]月1回	(0)	(230)
3	プロジェクト事業 社会参加促進事業 アドボカシー推進事業 （継続）	若者のアドボカシー推進の実践やYouth+利用者である若者たちの現状や取組みをとおして、若者とのかかわりを大切にし、一人ひとりのユースワークストーリーを紡いでいく。 また、札幌市内の学校や関連施設および他都市若者施設等へ札幌のアドボカシーの推進やユース・ワーク実践の発信を強化し、数値では表すことのできないYouth+の社会的役割や質的評価の向上を目指す。 [実施内容] ・若者のユース・ワークストーリーの蓄積や実績、取組みの発信。 ・他都市若者支援団体との実践交流	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(1,000)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(600)

5.事業実施計画書(施設運営等事業)

(2)若者支援施設全施設共通　自立支援事業/交流促進事業/社会参加促進事業

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	自立支援事業 交流促進事業 社会参加促進事業 共通 情報コーナーの設置 (継続)	若者団体および社会参加に関する情報を収集し、自由に閲覧ができるコーナーをロビーに設置する。資料等を配架し、若者にとって有効な情報提供を行う。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
2	自立支援事業 交流促進事業 社会参加促進 事業共通 ホームページ管理 (継続)	ホームページやSNSを活用した施設の利用案内のほか、利用者が求める情報が手軽にアクセスできる環境を設定する。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
3	自立支援事業 交流促進事業 社会参加促進事業 共通 オンライン推進事業 (継続)	事業参加者の拡大を目的とした対面およびオンラインを併用したハイブリット型の事業展開を実践する。 各Youth+間および他都市施設との連携による事業を展開する。また、物理的距離および時間的制約に影響されずに参加可能となるオンラインを活用することで、参加のハードルを下げるとともに、今後の対面参加へとつなげていく。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
4	全Youth+重点事業 交流促進事業 居場所拡充推進事業 (レベルアップ)	若者を支える基盤となる「居場所づくり」のステップアップを目指す。居場所の質的な向上を図る。 居場所づくり評価指標(YMO-Scale)に基づき実施する。 [実施事業] ・各Youth+の居場所運営等	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
5	交流促進事業 若者の交流相談 ロビーワークの実施 (継続)	若者一人ひとりに合わせワーカーが意図を持って介入し、関係構築を図る。併せて、日々の実践を記録化し、全Youth+において情報共有を行いケース検討へとつなげる。また、職員の専門性の向上を目的に知識や手法の蓄積を図る。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
6	交流促進事業 若者団体 ネットワーク構築 Youth+NET構築 (継続)	若者が中心となる団体同士や団体とまち(主に市民や他団体)を情報でつなぐ、ネットワークを構築する。 多様な団体情報を若者や社会に向けて発信するとともに若者同士の情報交流のみならず、市民や他団体との連携、情報交流においても活用し、幅広い世代へ情報発信や情報交換が可能な仕組みとし、若者たちを応援するファンの獲得に努める。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)

(2)若者支援施設全施設共通　自立支援事業/交流促進事業/社会参加促進事業

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
7	社会参加促進事業 育成プログラム ユースワーカー 養成講座 （継続）	大学生世代を対象に、ユースワークへの興味関心を高め、ユースワーカーの担い手育成を目的とした講座を開催する。 ［対象］主に大学生世代の若者	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(170)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(170)
8	社会参加促進事業 学習支援 ボランティアの養成 （継続）	「まなびのサポート事業」学習支援サポーターの社会参加意識の醸成を目的に実施する。 グループワークの計画立案及び運営補助やサポーターへの個別面談や振り返り会におけるスーパーバイズ等を行う。 ［対象］大学生50名程度（各館10名）	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]年47回	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]年47回程度	(0)	(0)
9	社会参加促進事業 さっぽろ青少年女性活動協会連携事業 （継続）	財団内における連携を行い、双方が持つ力を活用し、若者に向けてより効果的な取り組みにつなげていく。 また、子どもや若者に関わる知識の会得と携わる職員の人材育成を目的とする。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
10	社会参加促進事業 地域活動 ネットワーク構築 地域若者サポーターの獲得と協働 （継続）	地域住民、活動団体、専門機関等、協働パートナーを獲得し、ネットワークを構築する。Youth+施設内やユースワーカーのみで抱えることなく、常に市民との協働を優先して取り組み、新たなサポーターの獲得に努め、札幌市全体に若者を応援する機運を広げていくことを目指す。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
11	社会参加促進事業 利用者モニタリング事業 （継続）	若者の意見や要望を取り入れることにより、若者の施設運営に対する参画意識を育む。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(100)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(100)
12	社会的自立に関する調査研究事業① テーマ別調査研究 （継続）	利用者登録時のアンケート、事業実施後アンケート、利用者満足度アンケートや関係機関へのヒアリングなどを踏まえた調査・分析を行い、若者や社会ニーズを捉えた施設運営を図る。なお、若者支援施設運営協議会において、結果を報告、新たな提案を行い、委員の意見を運営に反映する。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(100)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)

(2) 若者支援施設全施設共通　自立支援事業/交流促進事業/社会参加促進事業

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
13	社会的自立に関する調査研究事業② 若者を取り巻く環境の調査 （継続）	若者支援に関連する事業調査や実践研究を目的に、全国の若者支援施設等への職員派遣を行い、職員の専門性の会得の機会とする。また、収集した情報等は、若者を取り巻く社会ニーズに応じた取り組みへつなげる。 [令和4年度実績予測]・法政大学平塚教授科研の参加 ・全国ユースワーク実践団体意見交換など	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(445)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(700)
14	さっぽろ若者支援ネットワーク構築事業 若者支援施設運営協議会の設置と開催 （継続）	外部委員等により構成する会議体を運営する。会議開催にあたっては、事業や管理業務等の状況報告および運営水準の向上に係る協議を行う。また、若者支援施設を運営するうえでの方向性等の検討を行う。	【R4年度実績予測】 [時期]7・11・3月 [回数]年3回	(0)	(125)
			【R5年度】 [時期]7・11・3月 [回数]年3回	(0)	(115)
15	その他事業 インターンシップ 実習生の受け入れ （継続）	若者支援に携わる人材育成や認知度の向上を目的に、依頼に応じて大学生インターンシップや職場実習を受け入れる。 ・大学生インターンシップ　等	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
16	その他事業 視察受け入れ 講師派遣 （継続）	外部からの依頼に基づき、視察・見学の受け入れやスタッフの講師・委員派遣等を行う。 [令和5年度実績予測]・視察受入（各都道府県市町村、大学、専門学校、高校、ハローワーク、市保護自立支援課、障がい者支援事業所、各種法人等）・講師派遣（内閣府、厚生労働省、各都道府県市町村、大学、高校、中学校、市教育委員会、市児童相談所、市障がい福祉課、各種法人等）	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	企画事業収益 (300)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	企画事業収益 (500)	(0)
17	その他事業 フードパントリー 事業 （継続）	カフェ部、夜回り等のアウトリーチ、いとこんち、ヤングケアラーnet、Youth+ロビー等において、心とお腹を満たすことを目的に食糧および物資等を子ども若者等へ届けるとともに、その子ども若者が必要とする支援等へとつなげていく。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
18	その他事業 環境への取り組み （継続）	環境配慮に係る周知と啓発等を行い、利用者が共に考え行動するための機会を提供する。 また、環境行動マニュアルに基づいた施設運営に取り組む。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)

(2)若者支援施設全施設共通　自立支援事業/交流促進事業/社会参加促進事業

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
19	その他事業 システム環境の整備 （継続）	施設管理を中心とした業務フローの見直しや業務のシステム化を実践し、事務作業の効率化を図る。また、施設利用における市民への利便性の向上を引き続き図る。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(200)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(100)
20	自主事業 飲料等の販売 （継続）	利便性の向上および収益の確保のため、対面による飲料等の販売や自動販売機の設置を行う。なお、収益は若者のニーズを反映させた備品更新等に充てる。	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	物品販売 収益 (1,596)	(1,272)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	物品販売 収益 (1,590)	(768)
21	自主事業 地域若者サポートステーション （継続）	就労支援体制の充実を目的として、職業的自立に向けたキャリアコンサルティングや就職支援プログラムなどを実施する。（厚生労働省事業） ［実施事業］ ・地域若者サポートステーション事業の受託・実施 ［対象］ ・15歳～39歳までの若者および40代の就職氷河期世代	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	企画事業 収益 (42,019)	(42,019)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	企画事業 収益 (42,019)	(42,019)

(3) 札幌市若者支援総合センター(Youth+センター)

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	自立支援事業 自立支援相談 (レベルアップ)	困難を有する若者が適切な相談につながるきっかけをつくることを目的として、Youth＋全館で個別支援を行う。 [実施事業] ・複数の有資格者を配置し、個別相談を行う。 ・オンラインも活用しながら相談支援を展開する。 ・適切なタイミングで支援に最適な機関へつなぐ。 ・相談者向け満足度・ニーズ調査を行う(年1回)。 [対象] 概ね15歳～39歳の若者とその家族および関係者等 [参加人数等] ・新規登録:400名(うち20名Youth+利用) ・進路等決定:345名	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時 ・新規登録:400名(うち8名Youth+利用) ・進路等決定:301名	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(30)
2	自立支援事業 自立支援プログラム (継続)	一人ひとりの社会的自立に向けて、適切なアセスメントを行うことを目的として、グループプログラムを行う。 [実施事業] ・Youth+センター並びに活動センターでプログラムを行う。 ・オンラインも活用しながらプログラムを行う。 ①初期支援プログラム (居場所や集団に慣れていく段階のサポートを行う) ②就労準備プログラム (就労に向けた準備を目指していく段階のサポートを行う) ③就労支援プログラム (個別の目標に向けて活動していく段階のサポートを行う) ④10代向けプログラム(所属意識を高めながら、進路や就労に向けたサポートを行う) ⑤キャリアアップ応援プログラム(学校や職場への定着やキャリアアップに向けたサポートを行う) ⑥家族の会 [対象] 自立支援事業登録者	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数] ①週2回 ②週2回 ③週1回 ④週2回 ⑤月1回 ⑥月1回	(0)	(160)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数] ①週2回 ②週2回 ③週1回 ④週2回 ⑤月1回 ⑥月1回	(0)	(150)
3	自立支援事業 社会体験機会創出事業 (継続)	若者を支える地域の基盤づくりの推進を目的として、地域の個人や団体、企業等と協働して就労訓練等の社会体験を行う。 [実施事業] ・企業開拓員を配置し、相談員やユースワーカーと連携しながら企業等のもとで行うジョブトレーニングや現場見学、地域でのボランティア体験等をコーディネートする。 ・地域の個人・団体・企業等とのネットワークを構築する。 ・ボランティアサポーターの育成を行う。 [対象] 自立支援事業登録者 [参加人数等] ・参加者延べ数:1,200名 ・新規登録企業数:60社 ・サポーター登録数:50名	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時 ・参加者延べ数:1,155名 ・新規登録企業数:69社 ・サポーター登録数:54名	(0)	(2,722)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(2,850)

(3)札幌市若者支援総合センター(Youth+センター)

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
4	自立支援事業 中学校卒業者等進路支援事業 (継続)	学校卒業時または中途退学時に進路未定もしくは教職員が心配な若者に対して、切れ目なく早期に必要な支援につながる体制を構築することを目的として、在学中からの進路支援を行う。 [実施事業] ・Youth+センターを相談窓口とし、相談者の状況に応じて訪問相談に応じるほか、オンラインやLINE等も活用する。 ・学校と連携を図り、必要に応じて自立支援プログラムや活動センターの事業等を活用する。 ・進路支援担当者を配置し、学校等へ訪問活動を行う。 [対象] 中学校・高校の卒業時または高校中途退学時に進路未定もしくは学校教職員が進学・就労後も心配な若者とその家族 [参加人数等] ・支援につながった生徒数:50名	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時 通年・随時 ・新規情報提供:37名 ・支援につながった生徒数:43名	(0)	(170)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(100)
5	自立支援事業 広報セミナー (レベルアップ)	自立支援事業の周知・啓蒙を目的として、オンラインも活用した広報事業を行う。なお、子ども・若者の声を直接届ける機会をつくる。 [実施事業] ①出張説明・相談会(他機関との合同開催を年3回行う) ②一般市民向けセミナー ③支援者向けセミナー [対象] 自立支援事業対象者や支援者等	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数] ①年16回 ②年1回 ③年1回	(0)	(440)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数] ①年16回 ②年1回 ③年1回	(0)	(220)

(3) Youth＋センター（札幌市若者支援総合センター）

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
6	自立支援事業 自立支援相談 （レベルアップ）	Youth＋センターで運営する居場所から困難を有する若者が適切な相談につながるきっかけをつくることを目的として、個別支援を行う。 ［実施事業］・ロビー相談・自立支援事業説明の実施（相談機関と合同）・相談機関への同行支援 ［対象］概ね15歳～39歳の若者とその家族等 新規登録：4名	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
7	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 （継続）	若者の交流促進と新たな居場所の創出を図る。 ［実施事業］・10代みんなのイラスト部 ・Youth＋ Game Center ・ゆうがく ・お仕事座談会 ・若者主体のミニイベント など ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕115回	(0)	(60)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕96回	参加料受講料収益 (2)	(70)
8	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 「居場所拡充事業」 （レベルアップ）	Youth+施設外において若者が安心して楽しく過ごすことができる居場所を提供する。 ［実施事業］・ミニプラ（わかもの寺） ・大学生世代を対象とした居場所づくり ［対象］主に15歳～34歳までの若者、市民	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕21回	(0)	(90)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕28回	(0)	(40)
9	交流促進事業 交流促進プログラム イベント型 （レベルアップ）	社会的文化資本を積み上げることを目的とし、体験イベントの機会を創出する。 ［実施事業］・センター祭 ［対象］主に15歳～34歳までの若者、市民	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕2回	参加料受講料収益 (5)	(50)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕1回	参加料受講料収益 (6)	(90)
10	交流促進事業 交流促進プログラム グループ育成型 （レベルアップ）	若者が主体となり、自らのやりたいことを中心としたグループ活動の機会を創出する。 ［実施事業］・リーブル(3年目) ・ゲーム系サークル(1年目) ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕12回	(0)	(50)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕24回	(0)	(70)
11	社会参加促進事業 地域の社会活動への参加促進 地域事業への参加 （継続）	地域活動ネットワークから得た地域ニーズを、ロビーワークを通じて若者に周知し、地域事業への参加を促す。導入および事後のフィードバックを適切に行い社会意識の醸成を図る。 ［実施事業］・さっぽろ祭り・ゴミ拾い・雪かきボランティア ・餅つきなど ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕2回	(0)	(10)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕4回	(0)	(20)

(3) Youth＋センター（札幌市若者支援総合センター）

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
12	社会参加促進事業 育成プログラム① 初期体験型 （継続）	グループ活動の経験が少ない若者が、グループ内で自身の意見が反映される実感を得られる機会を創出する。 ［実施事業］・装飾委員会など ［対象］主に15歳～29歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕11回	(0)	(20)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕15回	(0)	(30)
13	社会参加促進事業 育成プログラム② 社会意識 ボトムアップ型 （レベルアップ）	若者がYouth+から地域（社会）へ意見表明や働きかけができる機会を創出する。 ［実施事業］・ONLINE座談会 ・心と体について語る会など ［対象］主に15歳～29歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕18回	(0)	(20)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕24回	(0)	(50)
14	さっぽろ若者支援ネットワーク構築事業 子ども・若者支援地域協議会 （継続） ※こども事業課・こども育成課・市民参画課連携事業	子ども若者支援の切れ目のないネットワークを構築することを目的として、地域協議会の調整機関として、構成機関および地域の民間支援団体のコーディネートを行う。 ［実施事業］・実務者会議の開催 ・代表者会議への参加 ・子ども若者支援セミナーの開催（自立支援事業「広報セミナー」で実施） ［対象］子ども・若者支援地域協議会構成機関	【R4年度実績予測】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(0)
			【R5年度】 [時期]通年 [回数]随時	(0)	(120)

(4) Youth＋アカシア（札幌市アカシア若者活動センター）

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
1	自立支援事業 自立支援相談 （レベルアップ）	困難を有する若者が適切な相談につながるきっかけをつくることを目的として、個別支援を行う。 ［実施事業］・サポステ相談員を招いた説明・相談会の実施・アウトリーチ活動を通した相談会の実施 ［対象］概ね15歳～39歳の若者とその家族等 新規登録：4名	【R4年度実績予測】 ［時期］通年 ［回数］随時	(0)	(0)
			【R5年度】 ［時期］通年 ［回数］随時	(0)	(0)
2	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 （継続）	施設を利用する幅広い層の若者を対象とし、興味・関心が持てる企画をその時折の流行を取り入れ展開する。また、若者の意見を反映させていくとともに、安心して他者との交流を図ることができる居場所を創出する。 ［実施事業］・アカシアタイム ①アカシアGAMECLUB②自習室FREEDAY③体育室&音楽室FREEDAY④アカシアキッチン⑤みんなのアカシアタイム ［対象］主に15歳～24歳までの若者	【R4年度実績予測】 ［時期］通年 ［回数］120回	(0)	(0)
			【R5年度】 ［時期］通年 ［回数］120回	(0)	(90)
3	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 「居場所拡充事業」 （レベルアップ）	さまざまな理由から施設で出会うことの難しい若者や児童会館利用対象者から外れた若者を対象に、地域の中で安心ができる居場所（拠点）や機会を提供する。また、地域の中で信頼のおける大人を発掘し、若者にとって必要な新たな出会いの場を創出する。 ［実施事業］①ぽぷ会②ミニプラ ［対象］主に15歳～20歳までの若者・市民	【R4年度実績予測】 ［時期］通年 ［回数］51回	(0)	(100)
			【R5年度】 ［時期］通年 ［回数］60回	(0)	(145)
4	交流促進事業 交流促進プログラム イベント型 （継続）	Youth+を利用する若者の声を反映させた事業を展開する。若者とともに事業企画・運営を行い、自己実現と若者同士の交流を図る機会を創出する。 ［実施事業］・ミニライブ・ロビーワークショップ ［対象］主に15歳～24歳までの若者・市民	【R4年度実績予測】 ［時期］通年 ［回数］3回	(0)	(65)
			【R5年度】 ［時期］通年 ［回数］7回	(0)	(55)
5	交流促進事業 交流促進プログラム グループ育成型 （レベルアップ）	若者が意欲的に参加・交流を図ることができる居場所づくりを行う。活動をとおして、仲間意識や所属意識を醸成し、自らも居場所づくりに参画する機会を創出する。 ［実施事業］・みんなのアカシア〇〇部 ①着物部②みんなのクリエイティブ同好会③スケボークラブ ［対象］主に15歳～22歳までの若者	【R4年度実績予測】 ［時期］通年 ［回数］40回	参加料受講料収益 (5)	(70)
			【R5年度】 ［時期］通年 ［回数］各月1回	参加料受講料収益 (10)	(130)
6	社会参加促進事業 地域の社会活動への参加促進 地域事業への参加 （継続）	若者が活躍できる地域フィールドを形成することを目的に、連携地域の協働団体とともに若者の参加・参画の場を創出する。 ［実施事業］・サタデースクール ［対象］主に15歳～24歳までの若者	【R4年度実績予測】 ［時期］通年 ［回数］42回	(0)	(31)
			【R5年度】 ［時期］通年 ［回数］40回	参加料受講料収益 (30)	(100)

（4）Youth＋アカシア（札幌市アカシア若者活動センター）

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
7	社会参加促進事業 育成プログラム① 初期体験型 （継続）	若者のチャレンジしたい思いを形にすることで、若者自身が達成感を感じる機会を創出すること、また、社会とつながることで自己有用感を高めていくことを目的として、事業展開を行う。必要に応じて、協働者連携を図る。 ［実施事業］・若者チャレンジ応援隊 ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕1回	(0)	(200)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕4回	(0)	(130)
8	社会参加促進事業 育成プログラム② 社会意識 ボトムアップ型 （継続）	若者にとって身近なテーマを取り上げ、社会課題を共に考える機会を提供する。若者の意見から課題を検討する機会を創出する。 ［実施事業］・これってどうなの？ ［対象］主に15歳～34歳までの若者・市民	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕5回	(0)	(20)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕5回	(0)	(30)

(5) Youth＋ポプラ（札幌市ポプラ若者活動センター）

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
1	自立支援事業 自立支援相談 （レベルアップ）	困難を有する若者が適切な支援先につながるきっかけをつくることを目的として、個別支援・交流会を行う。また地域特有の困難を抱えた若者を発見するためのアウトリーチ活動を行う。 ［実施事業］・ユースワーカーによる同行支援・交流会、アウトリーチ活動 ［対象］概ね15歳～39歳の若者とその家族等 新規登録：4名	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
2	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 （レベルアップ）	ロビー利用者を対象とし、施設内外を活用した事業を実施する。実施にあたっては、若者のニーズを反映したイベントを中心に行い、新規来館となる若者を獲得していく。 ［実施事業］・ミニイベント ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕30回	参加料受講料収益 (3)	(80)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕72回	(0)	(60)
3	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 「居場所拡充事業」 （継続）	Youth+施設外に若者の居場所の選択肢を増やすことを目的として、地域のネットワークを活用し、居場所となる拠点の調査を行う。調査をしつつ、ユースワークマインドを伝え、協働者との関係を構築していく。 ［実施事業］・アウトリーチ事業 ［対象］主に15歳～34歳までの若者 民生委員または他団体と協働で実施	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕12回	(0)	(10)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕6回	(0)	(10)
4	交流促進事業 交流促進プログラム イベント型 （継続）	若者の声をもとに、季節行事などの文化的体験に触れる機会を提供する。特に相対的貧困にある若者に向けて実施をしていく。 ［実施事業］・季節行事体験事業 ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕2回	(0)	(10)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕1回	参加料受講料収益 (3)	(10)
5	交流促進事業 交流促進プログラム グループ育成型 （継続）	共通の興味関心を持つ若者にグループ活動の機会を提供する。または、ユースワーカーの個性・特技を生かして、若者のグループ育成を図る。実施にあたっては、グループワークの手法を取り入れ、一人ひとりの成長を促すよう働きかける。地域若者サポーターと協働で実施 ［実施事業］・サークル活動（2グループ育成） ［対象］主に15歳～29歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕18回	(0)	(14)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕12回	(0)	(10)
6	社会参加促進事業 地域の社会活動への参加促進 地域事業への参加 （継続）	若者が地域の事業に参加し、多世代交流をとおして、社会に目を向ける機会を創出する。 ［実施事業］・地域連携事業 ［対象］主に15歳～34歳までの若者・町内会など	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕4回	(0)	(44)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕2回	(0)	(20)

(5) Youth＋ポプラ（札幌市ポプラ若者活動センター）

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
7	社会参加促進事業 育成プログラム① 初期体験型 （継続）	若者が意見を表明する場を提供する。また、意見を具現化することで若者が施設運営に主体的に関わる意識をもつきっかけづくりを行う。話し合いをとおして、多種多様な立場の人の考えを知る機会となるように働きかける。 [実施事業]・利用者モニタリング [対象]主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕2回	(0)	(78)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕2回	(0)	(80)
8	社会参加促進事業 育成プログラム② 社会意識 ボトムアップ型 （継続）	若者が社会に関心を持つきっかけづくりを行う。より多くの若者が参加できるようにSNSなどのさまざまなツールを活用して実施する。 [実施事業]・〇〇で社会が見えてくる [対象]主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕15回	(0)	(10)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕8回	(0)	(10)

(6)Youth＋豊平(札幌市豊平若者活動センター)

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	自立支援事業 自立支援相談 (レベルアップ)	若者と関係を構築する中で些細な困り感をキャッチし、適切な相談機関・団体に繋げる。また、必要に応じてアルバイト等をテーマにしたミニイベントをサポステ相談員を招き、企画・実施し自立支援への橋渡しを行う。 [実施事業]ミニイベント(仮)、サポステ相談員を招いたロビーワーク等、ユースワーカーによる同行支援 [対象] 概ね15歳～39歳の若者とその家族等 新規登録:4名	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
2	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 (継続)	若者が自身の興味関心を広げ、安心して過ごせる居場所づくりを目的とし、ワーカーの特技や興味関心を生かした内容と併せて若者の意見やアイディアを取り入れたイベントを実施する。 [実施事業]・ミニイベント ・ゆるスポ(仮称)、ゆるゲー(仮称) ・ユープラ×ふりーたいむ等 [対象]主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕121回	(0)	(70)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕月4回以上	(0)	(70)
3	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 「居場所拡充事業」 (継続)	関係機関や子ども若者支援団体との連携を図り、Youth＋以外での若者の居場所の創出を目的として実施する。 [実施事業]・ゆりいか・Youth＋豊平ネウボラ [対象] 主に15歳～20代の若者 2団体以上連携	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕39回実施	(0)	(50)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(30)
4	交流促進事業 交流促進プログラム イベント型 (継続)	施設の新規利用者獲得を目的としたスポーツ交流やワークショップなどを実施する。実施にあたっては、若者のニーズや季節に適したテーマを選定し、必要に応じて若者や地域若者サポーターとともに企画運営する。 [実施事業]夏まつり・アイスキャンドル・写真ツアー等 [対象]主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕3回	参加料受講料収益 (10)	(60)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕2回以上	参加料受講料収益 (10)	(70)
5	交流促進事業 交流促進プログラム グループ育成型 (レベルアップ)	若者の興味関心や職員の特技等を組み合わせながら内容を選定し、集まった若者同士の仲間意識を醸成し、主体的な運営が可能となるようサポートする。必要に応じて地域若者サポーターを講師として協力を仰ぐ。 [実施事業]・スポーツ系1グループ、文化系2グループ [対象] 主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕通年3団体	参加料受講料収益 (2)	(40)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕3団体以上	(0)	(30)
6	社会参加促進事業 地域の社会活動への参加促進 地域事業への参加 (継続)	若者が身近な地域のボランティア活動等に参加できる基盤をつくり、体験を通した社会貢献意識の醸成を目的とする。 [実施事業]・豊平区内の地域事業への参加 [対象]主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕11回	参加料受講料収益 (6)	(40)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕通年・随時	(0)	(17)

(6) Youth＋豊平（札幌市豊平若者活動センター）

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
7	社会参加促進事業 育成プログラム① 初期体験型 （レベルアップ）	やりたいことや思いを形にすることによる達成感を得て、社会の一員である自分を認識することを目的として事業展開を行う。また、自分の好きなものや思いを発信する事を目的としたコーナーを施設内に配置する。 ［実施事業］・FMアップル・豊平ブレストミーティング・推しコーナー（仮称） ［対象］ 主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕13回	(0)	(116)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕月1回以上	(0)	(66)
8	社会参加促進事業 育成プログラム② 社会意識 ボトムアップ型 （レベルアップ）	社会の課題や出来事に触れ、意見を表明する機会を提供することで、社会への関心を高める。同時に世代を超えた多様な意見に触れる機会を提供する。また、同世代もしくは少し年上の地域若者サポーターにも協力を仰ぎ、話を聞く機会を設けることでさまざまな価値観に触れる機会を創出する。 ［実施事業］ ・〇〇で社会がみえてくる・先輩トークルーム(仮称) ［対象］ 主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕7回	(0)	(30)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕通年6回以上	(0)	(30)

(7) Youth＋宮の沢（札幌市宮の沢若者活動センター）

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
1	自立支援事業 自立支援相談 （レベルアップ）	困難を有する若者が適切な相談につながるきっかけをつくることを目的として、個別支援を行う。 ［実施事業］・教育センターとの連携事業（教育センター相談の対象外となる若者とつながる） ［対象］概ね15歳～39歳の若者とその家族等 新規登録：4名	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(0)
2	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 （継続）	若者のニーズに沿い、誰もが気軽に参加できる体験活動や交流イベントを開催し、若者にとって安心できる居場所づくりを行う。 ［実施事業］・ミニイベント ［対象］主に15歳～34歳までの若者 （内容によっては22歳まで）	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕月3回以上	参加料受講料収益 (6)	(50)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕月3回以上	(0)	(50)
3	交流促進事業 交流促進プログラム 居場所型 「居場所拡充事業」 （レベルアップ）	地域との協働で施設外での活動場所をつくり、協働者とともに新たな体験機会の創出や多世代交流をとおして若者が活躍できる居場所を展開する。 ［実施事業］Youth×カフェふうしゃ ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕月1回以上	(0)	(60)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕月1回以上	(0)	(79)
4	交流促進事業 交流促進プログラム イベント型 （継続）	新規来館者の獲得を目的として、多様な若者の興味・関心を引くイベント・講座を実施する。若者からの要望を実現し形にする。 ［実施事業］・YOSAKOI体験会(仮) 他 ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕年2回以上	参加料受講料収益 (3)	(45)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕年1回以上	参加料受講料収益 (3)	(50)
5	交流促進事業 交流促進プログラム グループ育成型 （レベルアップ）	若者が目標にむけて交流を行い、それぞれ役割を意識することで帰属意識を高める。また、グループが自走するようにサポートを行う。 ［実施事業］サークル活動 ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕月2回以上	参加料受講料収益 (6)	(10)
			【R5年度】 〔時期〕3カ月以上 〔回数〕年1回以上	参加料受講料収益 (3)	(15)
6	社会参加促進事業 地域の社会活動への参加促進 地域事業への参加 （継続）	地域若者サポーターと協働のもと地域事業やボランティア活動の機会をとおして、社会との関わりに関心を高める。 ［実施事業］・地域参加事業 ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(10)
			【R5年度】 〔時期〕通年 〔回数〕随時	(0)	(10)

(7) Youth＋宮の沢（札幌市宮の沢若者活動センター）

（単位：千円）

No	事業名	目的・内容（対象・参加人数等）	時期・回数	収益	費用
7	社会参加促進事業 育成プログラム① 初期体験型 （継続）	若者の得意を生かし、社会に対して自らが影響を与えられる一員であると実感するために、若者が社会へ発信する機会を提供する。 ［実施事業］・三角山放送局　ラジオ 他 ［対象］主に15歳～34歳までの若者	【R4年度実績予測】 ［時期］通年 ［回数］月3回以上	(0)	(30)
			【R5年度】 ［時期］通年 ［回数］月3回以上	(0)	(30)
8	社会参加促進事業 育成プログラム② 社会意識 ボトムアップ型 （継続）	多世代や地域の団体と関わり、様々な人と対話を重ねることで多様な価値観に触れ、社会の一員としての気づきを促す機会を創出する。 ［実施事業］・ちえりあフェスティバル ［対象］主に15歳～25歳までの若者	【R4年度実績予測】 ［時期］通年 ［回数］1回	参加料受講料収益 (60)	(60)
			【R5年度】 ［時期］4月～8月 ［回数］1回	参加料受講料収益 (60)	(100)

管理に係る収支計画書(令和 5年度)

法人・団体名　公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

	科目	指定管理業務			自主事業				計
		管理費	事業費	小計	飲料販売	受託事業	サポステ事業	小計	
収入	指定管理費			178,094					178,094
	利用料金収入			28,788					28,788
	その他収入			647	1,590	3,388	42,019	46,997	47,644
	収入計			207,529	1,590	3,388	42,019	46,997	254,526
支出	人件費		147,912	147,912		3,186	39,700	42,886	190,798
	旅費・交通費		810	810			196	196	1,006
	通信運搬費		1,641	1,641			381	381	2,022
	減却償却		3,590	3,590			0	0	3,590
	消耗品費		2,905	2,905	660		314	974	3,879
	修繕費		250	250			0	0	250
	印刷製本費		100	100			0	0	100
	燃料費		4,459	4,459			18	18	4,477
	光熱水費		8,124	8,124	58		126	184	8,308
	賃借料		1,927	1,927			174	174	2,101
	保険料		400	400			0	0	400
	諸謝金		2,292	2,292			912	912	3,204
	租税公課		18,010	18,010		2	0	2	18,012
	支払負担金		116	116			0	0	116
	委託費		9,164	9,164			0	0	9,164
	役務費		3,959	3,959		200	2	202	4,161
	支払手数料		100	100			0	0	100
	備品費		560	560			0	0	560
	広告宣伝費		806	806			150	150	956
	会議費		26	26			0	0	26
	雑費		0	0			46	46	46
	行政財産目的外使用料		0	0	50		0	50	50
	法人事業費	7,053	0	7,053			0	0	7,053
	支出計	7,053	207,151	214,204	768	3,388	42,019	46,175	260,379
利益等	収支			-6,675	822	0	0	822	-5,853
	利益還元							0	0
	法人税等								
	当期純利益								-5,853

※　それぞれの項欄について、必要に応じて小区分を設定しても構いません。
※　行が足りない場合は、適宜追加してください。
※　税込みで記載してください(以下、様式4-3から4-5まで同じ)。
※　「利益還元」の項には、利益のうち還元額を記載してください。
※　様式4-3から4-5までにより積算内容を記載してください。

令和５年度　自主事業計画書

法人・団体名　　公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

札幌市若者支援施設管理業務等仕様書に定められた業務のほか、若者支援施設の設置目的を促進するため札幌市と協議をしたうえで、自主事業を以下のとおり実施します。

なお、自主事業は指定管理業務に支障の無い範囲で行い、事業ごとに区分した経理を行い、設置目的の範囲を超える自主事業においては別途使用許可申請を行います。

（ア）飲料等の販売

利用者への利便性及び収益確保を目的として飲料及び軽食等の販売を行います。販売メニューや販売方法等は若者のニーズに即した内容を提供します。また、販売での収益は、施設モニタリング事業での改修及び備品等の更新を通じて利用者に還元します。

※軽食の提供にあたっては、食品営業許可申請や食品衛生責任者の配置等、保健所への申請を行うとともに衛生に留意し安全に実施します。

収入予定額：１，５９０千円

（イ）地域若者サポートステーション事業

札幌市と協議の上、厚生労働省（北海道労働局）の「地域若者サポートステーション事業」を受託し、自立支援事業における就労支援機能を強化します。

同業務を受けるにあたり、求められる有資格者を含め適切な人数を配置するとともに、「子ども・若者支援地域協議会」の各関係機関との連携により社会的自立が困難な若者への支援を行います。（地域若者サポートステーション事業の活用については、自立支援に関する業務実施計画としても記載していますが、事業を区分経理するため再掲しています）

受託費収入予定額：４２，０１９千円

（ウ）その他の外部事業の受託

設置目的及び基本構想にかかる「自立支援」「交流促進」「社会参画」の３つの視点に資する外部主催の事業を積極的に受託します。また、受託に伴う収益を活用し施設の効果を最大限に引き出すことが可能な取組みに努めます。

受託費収入予定額：３，３８８千円

収入予定総額：４６，９９７千円

管理に係る収支計画書(令和 5年度)

法人・団体名　公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

	科目	指定管理業務			自主事業				計
		管理費	事業費	小計	飲料販売	受託事業	サポステ事業	小計	
収入	指定管理費								0
	利用料金収入								0
	その他収入				1,590	3,388	42,019	46,997	46,997
	収入計			0	1,590	3,388	42,019	46,997	46,997
支出	人件費			0		3,186	39,700	42,886	42,886
	旅費・交通費			0			196	196	196
	通信運搬費			0			381	381	381
	減却償却			0			0	0	0
	消耗品費			0	660		314	974	974
	修繕費			0			0	0	0
	印刷製本費			0			0	0	0
	燃料費			0			18	18	18
	光熱水費			0	58		126	184	184
	賃借料			0			174	174	174
	保険料			0			0	0	0
	諸謝金			0			912	912	912
	租税公課			0		2	0	2	2
	支払負担金			0			0	0	0
	委託費			0			0	0	0
	役務費			0		200	2	202	202
	支払手数料			0			0	0	0
	備品費			0			0	0	0
	広告宣伝費			0			150	150	150
	会議費			0			0	0	0
	雑費			0			46	46	46
	行政財産目的外使用料			0	50		0	50	50
	法人事業費			0			0	0	0
	支出計	0	0	0	768	3,388	42,019	46,175	46,175
利益等	収支			0	822	0	0	822	822
	利益還元							0	0
	法人税等								
	当期純利益								822

※　それぞれの項欄について、必要に応じて小区分を設定しても構いません。
※　行が足りない場合は、適宜追加してください。
※　税込みで記載してください(以下、様式4-3から4-5まで同じ)。
※　「利益還元」の項には、利益のうち還元額を記載してください。
※　様式4-3から4-5までにより積算内容を記載してください。